

平成 27 年度 第 1 回日本臨床工学技士連盟 理事会議事録

日時：平成 27 年 5 月 23 日（土）16：00～18：00

場所：株式会社朝日ビルディング 地下 2 階 多目的ホール B 室

理事出席者：肥田、門田、上野、関川、小林、山下、高橋、三井、山崎、高山、山田、小峠、田村

オブザーバー出席者：坂口（鹿児島県）、氏家（福島県）、中山（茨城県）、海老原（茨城県）、小林（神奈川県）、興津（静岡県）、宮崎（愛媛県）

1. 開会

挨拶（肥田理事長）

2. 議案

（1）日本臨床工学技士連盟 組織図について

今回は準備不足により組織図が配布できなかったが、各担当部長は前回理事会にて決定した。また、組織図に記載されていた会長・副会長も、理事長・副理事長へと変更した。空席となっていた事務局長に、田村氏が就任。

・役員改選について

今まで監事として務めていただいていた関東の山下氏が、今年度より理事として、監事に中四国の高山氏が就任。反対意見なく了承される。

・各委員の今年度の目標（各担当部長より活動計画について一言ずつ）

総務：関川

今後の理事会の企画準備を行っていく。また、来年度の参議院選挙で誰を押すべきか、連盟として決定したい。女性会員増加、国会見学ツアー等現在検討中。来年の京都日臨工時に総会が開催できるよう検討して欲しい（肥田理事長）

組織：小峠

理事長を始め、他の部署の方と全体的に動けるようにしていきたい。

渉外：小林

神奈川県としても活動できるよう、神奈川県 3 役の承認を得た。本日の大会懇親会で、参議院議員の大家敏志先生が見えられる。6 月 8 日（月）の大家先生のモーニングセミナーに参加可能な方はぜひお願いしたい。

学修：山崎

会員向けにセミナーを企画中。学修面でのバックアップが不十分である。認知度向上、政治政策の向上に努めたい。

広報：三井

連盟新聞を年 2 回、メールマガジンを年 3~4 回、その他の情報提供を随時配信できるよう努めたい。HP 広告は法外な値段でなければ問題は無いとの事なの

で、積極的に募集していきたい。

連盟新聞等の広報を、jacet メールでできるようにするか、都道府県事務局、都道府県担当者に回す等、今後の検討課題である。

選対：長尾

来年夏の参議院議員選挙に向けて活動予定。

青年：山田

若手を中心として、キャンプ・飲み会等懇親を深める企画を検討中。夏～秋にかけて、山口県でキャンプ開催か。

事務局移転について（事務局長）

今まで日本臨床工学技士会事務局所在地を事務局としていたが、事務局移転に伴い現在のビルの所有者が過去に政治関連団体での問題があったため同居は不可となった。

新事務所として、東京都品川区西五反田 8-1-8 中村屋ビル 6 階の株式会社トマーレ内に事務所を設置させていただいている。規定上、現時点での問題は確認されていないが、慎重に動きたい。

今後は会員からの郵送物が現時点で転送体系となっているため、転送可能期間内での再検討が課題。

神奈川県：小林力氏より質疑

参議院選挙では3年に1度の活動だが、それが無い期間はどのようにするのか。また、衆議院議員選挙についての展望は？県議、市議等への働きかけは？各都道府県とのパイプも必要ではないか？上記項目について急ぎではないが、今後の課題として取り上げていただきたい。

当連盟は全国組織として構築を目指している最中である。原則として全国区をこの理事会で、地方選挙区は支部設立後に対応する方向で今後は考えて行きたい。本内容については、選挙対策委員長にお願いしたい。

(2) 都道府県担当者の仕事内容について（肥田理事長）

・具体的な仕事内容の検討

今後の選挙において、どの推薦議員を選ぶのか、全国区、地方区をどう決定していくか。→組織が未熟なので、対応できる体制ではない。

県の担当者で会費を集めて事務局で集約する手法を取り入れていく必要があるのか。現金入会も今後可能としていく必要がある。また、会費未納者への督促も継続して行っていく。

福島県技士会氏家会長：

県担当でお金を集めるとなると、その県ごとの事務局の負担が増える可能性が

ある。今後それをどう見ていくのか。

日本臨床工学技士会の入会と同時にピン付できないかとの意見もあったが、公益法人で不可能だった事例がある。

看護協会のように行動すべきなのか？現状では難しい。

(3) ピンバッジの活用について（肥田理事長）

今回の学会に合わせて700個作成した。費用は約12万。各ブロック学会でも活用していただきたい。

(4) 今後の地方ブロック学会等での対応について（肥田理事長）

日程が近いところから順次ブース設置、説明、入会を勧めていく。今年度の協議会ブロック別の大会日程は早い順で下記の通り。

九州・沖縄ブロック（鹿児島県）：9月5・6日

関東ブロック（東京都）：9月13日

甲信越ブロック（長野県）：9月13日

中部ブロック（富山県）：11月7・8日

近畿ブロック（大阪府）：11月7・8日

中四国ブロック（広島県）：11月21・22日

北海道・東北ブロック（北海道）：11月29日

ブースの設置やパネルなどの準備チラシなどの配布物は、事務局を中心として各ブロック開催時に設置できるよう対応をお願いしたい。

(5) 石破茂 地方創生担当内閣府特命担当大臣との面談について（肥田理事長）

2015年4月15日、放射線技士連盟の畦元氏の紹介で、面談が実現した。臨床工学技士の議員懇話会の設立をお願いした。懇話会設立に関して、畦元氏も協力していただける。

(6) 放射線技士連盟との連携について（肥田理事長）

来年夏の参議院選挙に出馬予定の放射線技士連盟の畦元氏について、当連盟として推薦するかどうか。

支持母体が20万票、実投票10万票（50%）が集まらないと厳しい。この条件をクリアする見通し無く推薦し、万が一落選した場合は我々の力不足とも捉えられる。畦元氏が自民党公認候補になる為には、今季夏までに党員1300名を集めなければならない。現時点では約800名。連盟として党員になるか否か、検討したい。公認候補が取れなかった場合の事も考えなければならない。現時点では、支持母体がしっかりしている組織と手を組む必要があるのではないか。

推薦状は技士連盟として提示したいが、提出する場合は6月1日に自由民主党選挙対策委員長の茂木敏充衆議院議員と面談する必要がある。共倒れのリスクも否定できないが、同行して公認が取れてから推薦状を出す形でも良いのではないか。

推薦状は連続して出せるものではないので、慎重に動きたい。

3. その他

本日の大会懇親会で、参議院議員の大家敏志先生が見えられる。6月8日(月)の大家先生のモーニングセミナーに参加可能な方はぜひお願いしたい。

明日の日本臨床工学技士会総会前に、本会場4階411室にて、10:30から畦元将吾氏と面談(約10分)。参加できる方は是非お願いします。

4. 次回理事会開催日

・次回理事会は来年の1月を予定。詳細な日程は総務と事務局より後日報告予定。

・今後、バッティングしない医療職と手を組むのはどうか

PT、OT、検査等、医療職の連盟は幅広い。今は全国として擁立できる候補を選出した。今後の課題となる。

・会員を劇的に増やすにはどうすべきか

具体的な結果が伴わないと厳しいのではないか。県単位での増加なのか、地方での増加なのか。看護協会のように半強制的な入会手法があれば良いが、現状厳しい。